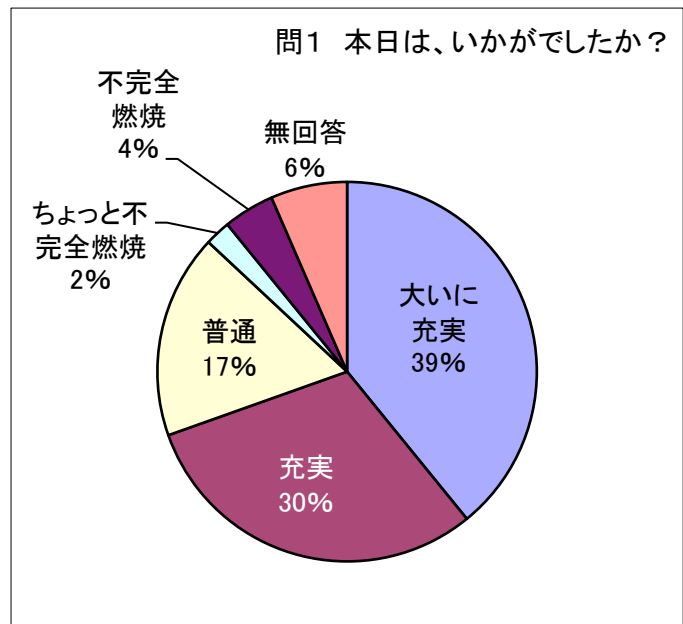


■第2回定例会議091128 アンケート〈一次〉集計

アンケート回答数：52

委員：46

傍聴：6



1：本日はいかがでしたか？

山紫水明のコラボレーションが現実味を帯びてきた

目的意識などの共通認識をとれた

2期のスケジュールが大まかに決まりました

2期目に際して、チームの真に目指すところが少し見えてきましたような気がします。

他チームとの連携イベントが具体化できた

具体的な方向性が決まってきた

チームに入ってしっかりと議論できたため

きわみが盛り上がりました

若100の進捗が心配だったが、ロードマップが見えたので安心した。

これらのスケジュールが明確になった

具現化に向かってがんばりたい

具体的な話ができたので

議題について各自の意見を出し合い、企画が展開していることを実感したため

「行い」に向けて進んでいると感じた。自分が、具体的にできること。まだわかりませんがきっと見つかると思います

新たなテーマ出しに挑戦するようなホットな論議ができた

昨年一年色々話し合ってきた下積みがあり、今年は具体的な行動が、できるようになりました。

新しい委員や新しいが本質的な話題提供ありました、具体的な活動スケジュールができた新たなよいつながりができた

チームメンバーが増えたので、グループを分けることができた。行動計画を考えるのにとってもよかった

今後の指針が立てることができた

事務局担当のきめ細かい配慮と新規メンバーの意欲が先の楽しみ

チーム内でじっくり話げできたので満足できた。チーム報告があるのはいい。委員会全体の進行度やチームの目標が理解しやすい

皆でまとまってやっていこうと決めたこと

午前中の勉強会を含め中身のある議論ができた

新しいメンバーが多数入られて、活発な意見が出ました

昨年度にあがった基礎計画を具体的に出来た

実現化に向けて、具体的なスケジュールを決められた。

少しずつではあるが、前に進んでいる事を感じた

具体的な計画が決められた

前年度の反省から新しく「京都を豊かにする」チームが出発した

途中で抜けなければならなかった次は最後まで参加するようにします

漠然としてまとめにくい

スケジュールが大まかに決まった。具体的な役割になるとなかなか決まらなくて、グループの中で偏りができてしまう

発信者に偏りがある。チームメンバーが多くて話しづらい

新規の方、京都市、他多くの意見を聞くことが出来ました。今後の展開に大いに期待したい。

行政から来ていただいた方が前向きだった

市の観光課の北村課長に参加していただいて、アンケートの中間調査結果と行政としてのまとめ方の説明を受け、かなり深いディスカッションが出来た。

内容が良い

初めての参加でしたが、皆様の景観に対する重いがビシビシと伝わってきました。

初参加だったので、とりあえず様子がわかった

初めてなので

色々な方の発言をじっくり聞けた、具体的な事例をたくさん知れた

久しぶりに京都のまちづくり、景観まちづくりの議論の場に参加させていただきました。京都にはなんとも言えない魅力があります。次回を楽しみにしています。

様々なグループが見れた

初めてお邪魔させていただいたので、どう参加していいのかと、迷っていました。すみません。次回も参加できればと思いました。

聞きたかったが、チームが予想以上に議題もしっかりしていたので、話に入りやすかった。また次回までに勉強しようと思いました

同じ思いの元にさまざまな人々が集い考えを出し合いながら参加者それぞれがリフレッシュしていく創造の場を実感することができた

2：今日、いいな、良かったな、と思ったことをお聞かせください！

具体的な話が多く出た

意見が活発でした

メンバーが増えたこと。特に女性のメンバーが2名加わっていただき、活気が出てきた。

真剣に議論ができた

メンバーの意見が聞けた

色々な人（立場とか）の思いや意見を聞くことができて心が広がった

本音で話げできた

顔合わせができたこと

熱い思いを持った人の存在を知れた事

反省も含めて発想を変えることによって可能性が多く生まれると思った

どのチームも具体的な行動目標が出てきてよかったと思います。

発表できた

にこわくさんとのコラボのおかげで、具体的に進みそうだと思った。事務局の支援がありがたかった

具体的に物事が進められると思いました

ネットワークが広がる

いろんな方の意見が聞けました

年齢に関係なく集まり、自由な議論が出来たこと

新しい方も三名増えて、良意見交換

今日十分に話し合いの時間を持ててよかった

チーム同士また事務局の冊子でも、「チーム同士の協働」が多く呼びかけられていたこと。

100人委員会全体が1つのチームとして働ける予感がした。

春・夏の企画について具体的な話げできたので

2つ柱ができたこと

本年度の方向性が決まった。京都市の担当者が参加した。共汗だ。

市役所のほうの意見が聞けた。

市の方が来てくださって、貴重な意見交換ができて有意義だった。

市の方も積極的に参加してくださるのはとても嬉しい事と思いました。

景観に関する様々な取り組みのアイデアが聞けたこと

今後の計画がある程度見えてきたこと
チームが非常に充実してきた
実際の活動を見学できた
チームとして意義のある取り組みだと思った
新規委員とも少しなじめた
新メンバーでスタートに当り、お互いの意思確認ができた。
新しいメンバーとの交流ができた
新しい方のフレッシュな意見が目をつけた
自分のやりたかったことがまさにテーマになっていました。
飛び込みの私にも皆さんオープンに接して下さったこと
新人の方にも、やさしく受け入れる風土がある（きわみ）
一人で延々と喋る人がいて困ったが、サブチームを作り、議題を絞って十分に討議ができた。スタッフのサポート（企画実現のための）ノウハウ、他の企画との連携に対するアドバイスが大変有効である。
チーム報告・・・チームの方向性や進行度合いがよくわかった
幼児も参加していること

3：今日、問題だな、こうしたらいいのに、と思ったことをお聞かせ下さい！

財源

事前の準備が足りないように思った
第三セクターの運営に関心があった
京都市の担当部署の方が決まったということでしたが、参加はされないのでしょうか？
行政のサポートを受け入れる心が必要
グループによっては、司会者的な人がいなく、一人がモノローグのように進行している。
月1ではやはり進めるのが、難しい
やはり飛び込みのものには内容が見えづらかったこと

HPの実施

レポートの取りまとめも必要だが、具体的に我々に市長がどう実現に行くかがというステップになってきました。
他のグループの話が見えにくい。オープンマイクだけではわかりにくい
報告の時間が少なくて、ちょっとそれぞれのグループの内容がわかりにくかった。他のグループのことをしっかり学ぶことによって自分のグループの進め方などもよくなると思います
事前調査手法。アプローチ
手順、手続き、日程についての議論が多すぎませんか？
スケジュール作成、マイルストーン説定、チームのコンセプトの再確認、決定事項の確認
事務局の途中のアナウンスの音量をもう少し小さめにしてほしい
メンバーが全員集まるのが難しい。時間が長い。目指すものの確認と現実的なところで進めていかないと、1年間やっていく意義が少なくなると思いました。
一人で延々と喋る人がいて困った。今後、信頼関係を築き、進め方のスキルを向上させると、もっと円滑な討議ができるのかなと思う
チーム会議について、チームによって時間配分に問題があったようであった。（長すぎる）

4：委員みんなで共有したいこと、みんなに提案したいことなど、ご自由にお書きください！

京都人の誇り

それぞれのチームで企画されている事業の方針的裏づけをどうしたらよいか？
市政にどう生かせるか考えていくことが必要と思います。
イベント決定したので、その内容について
京都の危機から再生へ
今後のスケジュール
共通の考え、理念が必要
市民全体にこうした動きをもっとアピールしていければよいと考える
委員それぞれのプロフェッショナル（今一番生かされていない気がします）

ブログ、WIKI等ホームページ以外の情報共有場所

定例会に担当部署来てもらって同じ速さで市⇄100人委員会が進んでゆく事例

社会のテーマが他の社会と共同できることが多いので今後模索していきたい

まず、100人委員会のメンバーが、色んなチームのイベントに積極的に参加して、市民の輪のつながりを作っていきたい

歩きやすい道のwebサイトができれば、100人委員会のホームページリンクに貼ってほしい。(1月末予定)

ホームページ上でのイベント告知

第1期の具現化へ。当課題チームの具体的な行動による収集へスタート

100人の意味として、ブラッシュアップと、よりよい方々へメッセージを伝えることの大切を意識し続けるためのチームの報告だけでなく、それに対する意見を募る時間も是非確保していただければと思います
山紫水明チームと協働して委員対象の体験イベントをしています。12日の会議にて継続して検討する
他のチームと連携していきたい

賛成反対論も共有していきたい

5：勉強会／参加しての感想

嵐山のトイレ作りについて知りました。最近、京都市内の公衆トイレや駐輪場がキレイになっているので、良いことだと思っています。市民&観光客ともに住みやすい京都になってきていると感じます。

京都市職員さんの熱い思いをお聞きできて、良かった

このような情報が聞けてよかった。しかし、なぜ、この情報をもっと多くの市民に公開、公表しないのか。知りたい市民もたくさんいると思います。

12,3年前の話でも、一般には知られていない京都市の市民参加について当事者から聞いた有意義だった。申し訳ありません。参加できませんでした。

京都市が市民とともにまちづくりを進められた足跡がよくわかった。

職員の方々の熱い気持ちが伝わり、参考になりました。

実際の活動のはじめから終わりまで、聞けたので、今後の活動の参考に大いになった

参考になる活動であった。もっと市民の意見を聞く方がよい

面白かったが、時間が短かった

本日の勉強会を聞かせていただいて大いに参考になりました。今後も開催してください

一般市民、住民が通常、市の職員とかかわることは何らかの具体的な問題がある場合に限定されコミュニケーションが難しいものになりやすいと思います。しかも、発信者は市民住民の側で、市職員は受信応答側。本日のような場では市の職員の方が可能な限り個人としてお話になり、人間味を感じることができると思いました。こうしたことは市の職員と市民住民という区別に限らず、人と人の縁のある方すべてに共通するかと存じます。また、本日紹介いただいた、嵐山の例では、地元の料亭が集いの場になっておりました。ケースバイケースではありますが、可能な提言はこのように地元のどこかで集いが行われていることも大切かと思えます。(地元の人同士の縁を豊かにするという意味でも)嵐山さくらトイレ作りに参加した地元の方は本日いらっしゃっておられましたでしょうか。もし、おられるようでしたら、トイレができた後の様子について地元の人としてお話いただければと思います。

相談役との意見交換、成功/失敗事例のプレゼンを今後も開催していただきたい。お昼ごはん持参の告知をしていただいて、ランチタイムに長引いてもいいようにお願いします。

勉強会／こんな勉強会を提案したい

京都人の特性

他の自治体の首長などと呼んだもの。彼らの行政方針なども聞いてみたい

みやこ土曜日塾の事業について学びたい

京都市政と審議会を解剖する(講師：新妻さん)推薦

実現できた企画の紹介

京都市として国に発表した100人委員会についての内容

京都市民として京都をよくしていきたい